

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
横須賀・三浦	B	社会福祉法人 湘南福祉協会 総合病院 湘南病院	287	当院は良質な医療を通じて社会に貢献することを基本理念として掲げています。その更なる院内体制強化のため、医師の募集を希望しました。	当院は横須賀市の追浜駅前におよそ75年前に開院し、乳幼児期から老年期の患者を対象に、精神科と一般科をメインとする「心と身体」の両方が診療できるケアミックス病院(病床数287床)です。また、その他の特徴として、「漢方外来」、「手・肘の外科センター」という専門診療科も有しています。当該診療科は、医師からの申し出により開設したもので、専門分野で活躍を希望される医師には協力的な病院です。さらに、自治会、町内会等が主催する健康関連行事への参加、協力など地域に開かれた病院づくりも進めています。現在、全職員が「日本一 笑顔と挨拶ができる病院を目指す」というキャッチフレーズのもと、患者に寄り添った、また、スタッフの働きやすい職場づくりに取り組んでいます。以上、駅近で通勤しやすいこと、医師を含む職員の夢や希望に対し協力的であること、働きやすい職場づくりに病院全体で取り組んでいること、地域に開かれた病院を目指していること等が当院のアピールポイントです。
横須賀・三浦	B	医療法人福祉会 メンタルホスピタルかまくら山	90	勤務医師の高齢化に伴い、世代交代も含め若い医師に活躍していただきたいため	当院は地域密着を旨とする、市中唯一の精神科単科病院です。連携型認知症患者医療センターとしての活動や、全国でも数少ない入院森田療法を受け入れている病院として、幅広い学びを得ることのできる環境であると考えております。
湘南東部	B	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看取りなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組む絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生かす人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
湘南西部	B	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合産科母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。
湘南西部	B	医療法人社団秦和会 秦野病院	151	今後当院においては急性期治療棟の開棟や精神科地域ケアの充実を考えている為、地域に縁のある精神科医を採用したい。	50年におよぶ秦野での精神科医療と、姉妹法人である社会福祉法人成和会と連携した障害福祉事業の居住支援、就労支援、相談支援、介護デイサービス等展開は地域随一のもので、今後も医療・福祉・介護事業の総合的な展開を通して、地域精神医療での実践や経験値を高めていただき、ともに地域医療の発展に貢献をいただきたい。
湘南西部	B	秦野厚生病院	160	関連大学医局からの派遣が減っており、直接雇用を募集しているが不足しているため。	精神科の急性期治療に重点を置き、早期退院後の在宅生活支援も充実している。最寄駅から徒歩5分の場所にあり、通勤の便が良い。
湘南西部	B	医療法人社団清風会富士見台病院	305	地域医療貢献や医療従事者育成貢献のため。	精神科単科病院ですが、クロザピンやECTなど様々な治療を行っています。2019年に新棟を建設、2021年に電カ導入(予定)するなど最新設備も備えています。
県央	B	神奈川リハビリテーション病院	324	県内で医師の配置が最も逼迫している県央地区において、当該医師が当院の診療に加わることで、当院の臨床力の向上のみならず県央地域医療全体に貢献できるものと考えます。	令和元年8月に新病院がグランドオープンしました。40有余年の歴史と伝統のあるリハビリテーション医療を、ロボット手術支援システム(Mako)をはじめとした最新鋭の設備施設にて体得することができます。
横浜	C	昭和大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まることが予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を数多く経験することができます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。
横浜	C	済生会横浜市東部病院	582	—	—
横浜	C	横浜市立大学附属市民総合医療センター	726	—	—
横浜	C	横浜市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域産科母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りましょう。
横浜	C	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	674	—	女性医師支援をはじめ、働きやすい環境づくりのための各診療科会議の運用や各種制度の周知などを行っています。
横浜	C	神奈川県立精神医療センター	322	神奈川県精神科中核病院として、精神科救急医療システムの基幹病院として充実した救急医療を提供し、地域の医療機関と連携するほか、依存症、ストレスケア、思春期、医療観察法の4つの分野で専門的な医療を提供し、神奈川県精神科医療の中心的役割を果たしているが、そのような環境の中でオールラウンドに精神科医療をこなせる医師の養成を当センターは任務と考えている。	連携協力のある大学医学部から医局ローテーションを基礎としつつ、公募や人的ネットワークの活用による採用のほか、専攻医等の優秀な医師を積極的に確保するため、任期付き医師や非常勤医師の給与について常勤医師と同様のレベルに引き上げた。平成30年度より、新専門医制度における精神科専攻プログラムの基幹病院であり、神奈川県精神科中核病院として一般精神科医療から専門医療まで、幅広く豊富な症例を経験でき、地域の医療機関との連携においても中心的役割を担う当センターにおいて経験豊富な医師の許に研鑽を積むことは今後の臨床生活の礎になるはずである。

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
横浜	C	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市南部病院	500	当院は横浜市大関連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密にしております。このことからとくに、指導医が複数いる診療科ではサブスペシャリティの指導体制も充実しております。